



もっと
住み続けたい
筑後市の
実現に向けて

一般会 計予算は昨年度比2.2%減の187億4000万円

平成30年度予算を 可決 暮らしに密着した事業をチェック!

予算特別
委員会審査
3月16日~20日

行財政健全化を最優先に

平成30年度一般会計、特別会計、企業会計の当初予算について、予算特別委員会を設置し、全議員による審査を行った。

一般会計予算は、行財政健全化の取組みを最優先に、第五次筑後市総合計画に基づく8つの政策を着実に推進することを基本に編成され、同予算の歳入歳出総額は前年度比2.2%減の187億4000万円となった。

委員会では、多くの質問がなされ、採決の結果、賛成多数で原案可決された。その後特別会計8議案、企業会計の水道事業

について説明があり、採決の結果、全議案が原案どおり可決された。

校区コミュニティ協議会補助金1割削減

問 削減によって、校区コミュニティ協議会の活動が縮小するのでは。

答 削減する運営費補助金の対象は、事務所の維持管理費等（光熱水費・人件費等）が対象。各協議会で、やり繰りは必要となるが、活動そのものの縮小にはならないと考えている。

高額なはしご車 共同運用の考えは

問 はしご付消防車を更新するが、広域で共同運用はできないのか。

答 近隣市へ共同運用の意向を調査したが、財政面や人員配置面で困難と判断。一般財源だけでは厳しいので、起債（交付税措置あり）を活用する。

①安全で快適な生活を支えるまちづくり



水道事業

7億8388万円

災害時にも安定して水道水を供給するため、配水場や老朽管の更新事業等を実施します。

②資源・環境にやさしいまちづくり



川と水を守る 運動推進

763万円

市の豊かな自然環境を次世代へ残すため、水質環境保全を行います。

③豊かな暮らしを支え活力を生み出すまちづくり



観光事業

3275万円

「恋のくに筑後」の知名度向上、「HAWKSベースポールパーク筑後」を活用した着地体験型観光等を推進し、観光振興を図ります。

⑤創造性と豊かな心を育むまちづくり



少人数学級編制事業

6342万円

子どもたちが「行きぬく力」を身につけるため、少人数（35人以下）学級対応の教員を配置するなど教育活動を推進します。

⑥協働によるまちづくり



行政区事務・市民活動推進事務

1億5582万円

校区コミュニティ協議会や行政区など、地域活動への支援をする一方、その在り方も検討します。

④いきいきと健康なまちづくり



保育所等施設整備費補助金

1億7423万円

仕事と育児が両立できる環境づくりのために、保育所待機児童の解消を目指します。

⑦人を呼ぶまちづくり



地方創生・定住促進

8403万円

市の発展、地域の活性化に向けて、定住促進に取り組めます。

⑧持続と発展を可能とする市政運営のために



庁舎管理に要する経費

1億1582万円

本庁舎の老朽化した設備などの調査や東庁舎の空調設備の改修工事など、施設の更新・統廃合・長寿命化を計画的に進めます。